

建設産業委員会会議録（要点筆記）

令和7年1月20日（月）
午前9時50分 開会

○坂井美穂委員長

ただいまから建設産業委員会を開会します。

議案第1号「令和6年度半田市一般会計補正予算第8号」を議題とします。当局の補足説明を求めます。

【補足説明】（当局説明）

○大木康敬産業課長

歳出、6款1項2目商工業振興費、商工業振興事業18節負担金、補助及び交付金は、移住者就業・起業促進事業費補助金400万円の追加です。この補助金は、人口の東京一極集中を是正し、地方への移住を促進するため、東京23区等から、一定の条件のもと地方に移住した方に、国・県・市で補助を行うものです。当初予算で2件の申請を見込み、その後、昨年12月議会で追加1件の申請があったため、補正対応いたしました。さらに1件の申請があったため、今回、補正するものです。なお、本補助金は、市が支給しますが、国から1/2、県から1/4の割合の首都圏人材確保支援事業費補助金を受け、実施するものです。

次に、プレミアムデジタル商品券事業は、8,857万1千円の追加です。この事業は、物価高騰による生活者支援と事業活動を図るため、キャッシュレス決済のペイペイを活用し、プレミアムデジタル商品券事業を実施するものです。プレミアム率は20%であり、6,000円分の商品券を5,000円で6万5千口を販売、1人につき6口までの購入可とするものです。デジタル商品券の利用期間は、令和7年6月10日から11月30日までの約5か月半、対象者は13歳以上の市民でペイペイアプリの本人確認を済ませている方、対象店舗は、市内のペイペイ加盟店のうち、対象店舗と指定した約1,700店舗です。主な経費として、10節印刷製本費は、周知用チラシやポスターの印刷代で53万2千円、12節委託料の運営業務委託料は、本事業のペイペイの運営費で4月から7月までの間、ペイペイ内に商品券専用コールセンターを設置するための運営費や販促費として802万1千円、4月から5月にかけて公民館等で実施する市民向けの説明会や5月から7月までの間、市役所会議室に設置するサポート窓口の委託料として401万5千円、18節負担金、補助及び交付金の7,475万円は、プレミアム分として、6,500万円、本事業の事務費として975万円です。財源としては、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用します。

なお、本事業は、年度内完了が見込めないため、繰越明許を設定し、実施するものです。繰越明許費の額は、本事業の運営業務委託やプレミアム分負担金など、8,829万8千円です。

○坂井美穂委員長

補足説明は終わりました。ただ今から質疑を行います。

ご質疑ありませんか。

○伊藤正興委員

プレミアムデジタル商品券事業について質問します。前回、このような事業を実施しましたが、前回からどのくらい対象店舗が増えるのか、また、市内にある事業者のうち、今回予定している1,700店はどのくらいの割合となるかの2点について教えてください。

○大木康敬産業課長

どれだけ増えるかについては、正確には把握していません。1回目に行った際には、コンビニ等は対象とせずとし、2回目に行った際には、コンビニやドラッグストアなどを含

めた全ての店舗としました。また、昨年4月に実施したキャンペーンでは、約1,400店の実績でした。今回予定している1,700店については、現在、ペイペイで登録のある店舗見込み数であり、過去のキャンペーンにおいては、キャンペーン期間中のみペイペイに加入し、期間終了後脱退するケースもみられたことから、実際どのくらいの事業者が行うかは掴み切れていない状況です。また、財務省からは、コンビニに対し、今回のような特別な事業に対するタバコの販売は対象外とする通知が送られていることを考慮すると、今回の事業に参加しないとする意思表示をするコンビニも生じるのではないかと考えています。併せて、市内店舗においてどのくらいの割合になるかは、不明です。

○伊藤正興委員

市民にも事業者にもメリットがある事業だと思っています。実際に、ペイペイを導入している店舗が約1,700店であることについて、多いか少ないかわからないということでしたが、市としてはこの事業を評価して今回も導入するということでしょうか。

○大木康敬産業課長

その通りです。今回は、デジタル商品券として少しスタイルを変えていますが、ペイペイアプリを活用したこの取り組みについては、これまでのアンケート結果からしても有用だと考え、今回実施することは、有用だと判断しています。

○岩田玲子委員

プレミアムデジタル商品券事業について、これまでに実施したキャンペーンを経て、いろいろ改善をしていると思います。今回、市内の方が市内のお店で購入できるように工夫を行い、導入することにしたということでしょうか。

○大木康敬産業課長

これまでのキャンペーンでも事業者目線としては、市内外問わず、お客様が増えるというメリットがありました。しかしながら、商品を購入してついたポイントは、全国どこでも利用できるということから、全て市内の店舗で利用されることに繋がらなかったという課題がありました。今回実施するキャッシュレス決済の機能を持っている事業者は、現在はペイペイのみであり、ポイント分も全て市内で還元できることを考慮して、このたび導入することにしました。

○澤田勝副委員長

利用者へのサポートとして、4月から5月に市役所や公民館で実施するとのことですが、回数や時間帯について教えてください。

○大木康敬産業課長

現在、亀崎公民館、ニコパル、板山公民館及び神戸公民館の4公民館等で1回ずつ開催することを考えています。過去に実施した際に、人数が集まらなかったことを踏まえ、1回としています。また、市役所を会場として、2回実施する予定です。この他に、5月1日から7月10日までの期間、市役所の会議室において平日にサポート窓口の開設を予定しています。

○澤田勝副委員長

公民館で実施することについて、効果として、人の集まりが悪いとのことでしたが、周知方法のあり方も影響するかと思います。周知方法はどのようなのですか。

○大木康敬産業課長

新聞への折り込みは、1回を予定しています。今回も市報や折り込みを活用して、市民にしっかり周知をしていくことを考えています。なお、今回は、事前に購入や本人確認の手続き、抽選への申し込み手続きを行い、さらに、当選した方は購入といった手続きを必要とするため、これまでよりもより丁寧な説明を行うとともに、サポート窓口を平日は毎日開設し、対応できる体制を構築していく予定です。

○坂井美穂委員長

他にありませんか。

【「なし」との声あり】

ないようですので、これで質疑を終わります。お諮りします。

ただ今から討論を省略して、採決に入ります。これにご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

ご異議なしと認めます。ただ今から採決を行います。

本案は、原案のとおり決定することに、ご異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

異議なしと認めます。

よって、議案第1号「令和6年度半田市一般会計補正予算第8号」は、原案のとおり可決しました。

以上で、当委員会に付託されました議案は、審査を終了しました。なお、委員長報告は、正副委員長にご一任いただきたいと思いますと考えますが、よろしいでしょうか。

【「異議なし」との声あり】

ありがとうございました。それでは、ほかに何かありましたらお願いします。

ほかにありませんか。

ないようですので、本日の委員会はこれにて閉会いたします。

午前10時 6分 閉会